

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	公道走行中における消防団車両からのホースが落下した事案
3. 体験した事例の中心的要素	操法訓練終了後、車両後部に設置しているホース収納籠を、荷台に置いただけの状態 で、固定ベルトを掛けることもなく走行したため、走行中の振動によってホース収納籠が転 倒し、収納してあるホース4本が落下したものの。
4. 体験した事例の原因・理由	通常の訓練後は、ホース収納籠を定位置に戻し、固定ベルトで固定していることを、車両 走行前に点検していたが、今回はその点検作業を怠ったことが原因である。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。(大丈夫だろうと思った。)
------------------	------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	令和5年5月14日 午後1時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：片側2車線の市道上
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	交通事故
7. 事例体験時の活動	その他：操法訓練後、帰庫までの車両走行中
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：操法訓練後、帰庫までの車両走行中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[63]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [その他:部長(消防団)]
○当事者B	年齢[54]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [その他:部長(消防団)]
○当事者C	年齢[45]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [その他:分団員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A・B・Cが	消防団車両に同乗し、操法の訓練場所へ向かうため、Aが運転して走行した。	
経過2	A・B・Cが	同訓練場所に到着、午前9時頃から訓練を行い、午前11時過ぎに終了した。	
経過3	A・B・C他	参加した分団員で後片付けをした。	
経過4	Aが	各種止め金具等の確認を実施したが、収納籠は定位置に戻すのを忘れてしまった。	
経過5	A・B・Cが	午前11時30分頃に分団機庫に向けて帰った。運転及び乗車人員は来た時と同じ。	
経過6	消防団車両が	11時50分頃に、信号待ちの際、一般車両の運転手からホース落下の旨を聴取する。	
経過7	A・B・Cが	荷台を確認し、2個の収納籠のうち片方の収納籠のホース4本がないことに気付いた。	
経過8	A・B・Cが	走行した市道を引き返したところ、市道上に延長された状態のホース4本を現認する。	
経過9	A・B・Cが	ホース4本を回収した後、事故車両や怪我人が付近にいないことを調査する。	
経過10	Aが	分団長、管轄消防署、警察署へ電話連絡を行う。	
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思えるか？
- ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

たまたま、事故にならなかった その他：後続車両がホースを踏まないように注意し走行したため。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	はい

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

定位置に戻すことの失念と、車両走行前の点検に不備があった。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

市道の状況（ホース回収後）



落下時の状況



訓練時の
ホース収納籠の位置
転落防止措置なし



左側ホース落下状況
物的損害なし

通常時の状況



通常時の
ホース収納籠の位置

ベルトによる固定あり

